一般財団法人秋田県総合公社　令和７年度事業計画

Ⅰ　経営方針

令和７年度は、第３期経営計画（R6～R10）（以下、「第３期計画」と略す。）の２年度目として、初年度である令和６年度の実績と課題を踏まえつつ、「あなたの笑顔をサポートします」をキャッチフレーズに、本部及び事務所ごとの事業や業務において、第３期計画の４つの将来像である「挑戦」、「人財」、「社会貢献」、「協働」の実現に向けて努めてまいります。

コロナ禍においても進行した、人口減少、少子化及び高齢化、並びに若年層の県外流出の傾向は留まる気配が見えず、県人口は89万人を割り込む状況となっています。このような環境下において、いかにして利用者数を確保し収益を拡大していくか、同時に、いかにして利用者と社員の満足度を向上させていくか、という視点から事業計画を策定し、事業活動を展開していくことといたします。

令和７年度は、公社が指定管理している県有10施設（環境保全センター、中央公園、体育館、武道館、総合射撃場、狩猟訓練施設、野球場、向浜運動広場、総合プール及びスケート場）の指定管理更新が予定されております。令和６年度に継続して指定管理を受託した武道館は、向浜スポーツゾーンに編入される計画となっており、再度、指定管理申請をすることになります。

設置者である県からは、利用料金併用制の導入、指定管理期間の延長及び参加資格の県外事業者への拡大など、従来と異なる条件での公募が提示される見込みです。公社としても、これまでの実績だけではなく、新たな条件へ十分対応できる団体としての能力を的確にアピールし、確実な受注につなげてまいります。

経営の安定性を確保し、魅力的な組織としての価値を向上させるためにも、新規分野への進出と業務改善による収益確保が急務となってきております。新県立体育館ＰＦＩ事業への提案参加経験を活用して、従来の指定管理業務だけではなく、新たな管理手法事業への挑戦も含め、更なる収益の確保を目指して新規分野への参入も検討してまいります。

業務改善については、その手法としてＤＸ化を推進していくこととしており、令和６年度後半に、ＤＸ視点による既存業務の見直しを目的として、あきた企業活性化センターの補助事業を活用した、ＤＸ人材育成研修と業務棚卸しに関するヒアリングを実施いたしました。

令和 7 年度は各事務所のヒアリング結果を踏まえ、委託先であるＩＴベンダーのアドバイスをいただきながら、どのようなＩＴツールが必要なのか、どの程度のシステムが適切なのかについて、費用対効果も含めて検討しＤＸ推進計画を策定した上で、具体的に業務改善を推進してまいります。

賃金水準は上昇を続け、秋田県でも最低賃金時給 1,000 円台が目前となりつつあり、公社では人材の確保がこれまで以上に困難となってきております。選ばれる組織を目指して、給与面だけではなく、公共施設の運営に携わる価値、社員の福利厚生の充実及び経営内容の安定性などを強くアピールして人材確保を図ってまいります。そのための手段のひとつとして、公社のウェブサイトについて、スマートフォンでも見やすい画面構成、分かりやすい業務内容への改修を検討してまいります。

更に、適正な人員数を確保する、年次有給休暇の積極的な取得を促す、社員の要望にできる限り配慮した勤務態勢の調整に努める、などにより、社員のクオリティ・オブ・ライフ（ＱＯＬ）の充実を図り、多様な人材が能力を発揮できる働きやすい職場環境の充実に努めてまいります。

第 3 期計画に定める「人財」重視の方向性に則り、かつ、第 1 期研修計画の課題を踏まえて、令和 7 年度から開始する第 2 期研修計画（R7～R9）を策定し、階層別に必要な能力や技術を学ぶ育成研修や自発的に学ぶ選択研修などを設定しました。令和 7 年度は、「コーチング研修」の新設や、自律的に活動できる中堅社員層を育成することを目的とした「自律的思考獲得研修」の継続などにより、引き続き、人財の育成に力を注いでまいります。

公社では「健康を提供するための施設利用の促進」や「女性が活躍できる職場づくり」などの目標を掲げ、令和 3 年度よりＳＤＧｓ活動を開始し秋田県に登録しており、令和 6 年度に登録を更新しました。令和 7 年度以降も引き続き、「係長以上の女性社員数を 8 名以上とする」などの目標を掲げ、2030 年（令和 12 年）の目標達成に向けて努力してまいります。

環境保全センターでは産業廃棄物を適切に処理することにより、県民の生活環境の保全に貢献しております。令和 7 年 7 月には、全国から公共団体が関与する産業廃棄物処理施設管理者が一堂に会し意見交換を行う「第 46 回全国廃棄物処理公社等連絡協議会主管会議」が秋田県にて開催されることとなっております。当番団体として遺漏なく準備を進め、環境維持に貢献する施設としての環境保全センターの価値と運営する公社の活動を内外に提示する機会といたします。

令和 7 年度は、人口減少などの社会環境の変化、発注者や顧客のニーズの変化に柔軟に対応しつつ、社員全員が目標達成に努める意識を共有することにより、第 3 期計画の 2 年度目として「10 年後の将来像」の実現に向けて更なる一歩を踏み出してまいります。

Ⅱ　10 年後の将来像に向けた取組

1．挑戦

(1) 指定管理 10 施設の更新及び受注獲得

令和 7 年度は秋田県環境保全センターなど県有 10 施設が指定管理更新期にあたり、公募される予定です。設置者である県に対しては、安全安心な指定管理の推進を目的として公募前に施設利用料金の見直しや適正な指定管理料金の設定などを提案してまいります。

10 施設の再指定の確実な獲得に向け、公募条件の変更などにしっかりと対応し、公社がこれまで継続受注している実績やノウハウ、加えて業務の内製化による効率的な維持管理手法などの強みをＰＲして選定されるよう努力してまいります。

令和 7 年度指定管理更新となる管理施設

	施設名称	住所
1	県環境保全センター	大仙市協和上淀川字雨池沢 45
2	県立中央公園	秋田市雄和椿川字駒坂台 4-1
3	県立体育館	秋田市八橋運動公園 1－12
4	県立総合射撃場（狩猟技術訓練施設）	由利本荘市岩城道川字新田沢 43
5	県立総合射撃場（ライフル射撃場）	由利本荘市岩城道川字新田沢 43
	向浜スポーツゾーン	
6	（県立総合プール）	秋田市新屋町字砂奴寄 4－6
7	（県立野球場）	秋田市新屋町字砂奴寄 4－5
8	（県立向浜運動広場）	秋田市新屋町字砂奴寄 4－6
9	（県立スケート場）	秋田市新屋町字砂奴寄 2－2
10	（県立武道館）	秋田市新屋町字砂奴寄 2－2

※県立武道館は向浜スポーツゾーンと一体管理で募集予定

(2) 継続管理施設における利用者拡大の取組と安全安心な管理運営

①あきた芸術劇場ミルハス

アドバイザー会議

今年で開館 4 年目となりますが、様々な催事や県民の文化活動で利用していただけるよう、共同事業体の代表企業として管理運営してまいります。文化芸術の専門家 4 人をアドバイザーとして、それぞれの視点に基づいた意見や提案をいただく会議を定期的に開催し、運営や自主事業などに活かしてまいります。

②秋田県立循環器・脳脊髄センター

循脳センターの設備点検風景

本施設の施設維持管理と警備及び電話交換などの業務について、地方独立行政法人秋田県立病院機構より令和 7 年度から 3 年間の受注更新となりました。

令和 4 年度から管理実績をデジタルデータベース化し、省エネに必要なデータ収集にも活用できるように取り組んでおります。これまで培ってきたノウハウとデータベースを活用し、さらなる安全・安心な施設管理と効率的な維持管理を図ってまいります。

(3) 設置者や利用者・利用団体との意見交換機会の確保

施設の設置者である秋田県とは運営協議会を設けており、老朽化した施設や設備の修繕や利用促進を中心とした運営に関する課題を引き続き協議してまいります。また、施設を利用いただいている団体との懇談会の設置や、環境保全事務所での搬入者への独自アンケート調査などを通じて、より良い施設運営を行ってまいります。

(4) 業務の効率化を目的とする活動の推進

①ＤＸ推進計画の策定とＩＴツールの導入検討

効率的な業務処理を行う上で、デジタル的な考え方や視点が欠かせないものとなっております。そのため、令和 6 年度には各事務所から「ＤＸ推進担当者」を推薦させ、担当者を対象とした「ＤＸ人材研修」を行いました。座学だけでなく、講師から各担当者に所属先の業務を棚卸しする業務調査の作成が指示され、その調査に基づいて後日講師が事務所に赴きヒアリングを実施しております。

令和 7 年度はそのヒアリングから分析された結果を参考にしながら各事務所・各部署のＤＸ推進担当者が中心となって「ＤＸ推進計画」を策定し、ＩＴツールの導入や業務処理システムの改善などを進めてまいります。

また、社内においては、資格取得・更新や旅費精算にかかる電子決裁の対象範囲を拡大し、円滑に行えるように検証してまいります。

②電気や燃料の使用量及びコストの見える化

令和 4 年度後半から高騰したエネルギー価格及び光熱費は降下の兆しが見られません。施設管理部では毎月の電気・燃料の月別使用量をグラフで表記し、月別利用量を可視化して、使用量を把握できるようにしております。引き続き、利用者サービスを低下させることなく、エネルギーや水道を日常的に無駄なく使用するよう全社員に省エネ意識を徹底してまいります。

また、実績から現在の契約が適正であるかを調査し、少しでも安くなるような契約種別に変更できないか東北電力株式会社と協議しながら、公社にとって有利な契約方法を検討してまいります。

③キャッシュレス決済の導入

令和 6 年 10 月から 7 施設の利用料金支払いに、電子マネーやクレジットカード等を利用した支払いも可能なキャッシュレス決済が導入されました。導入された施設では、受付業務の処理フローをなど再精査して、効率的な処理を行ってまいります。

④施設予約システムの導入

施設予約システムは県立武道館と県立体育館で導入しておりますが、令和 7 年度は県立中央公園と向浜スポーツゾーンが検討対象施設となります。導入済み 2 施設と比較すると個人利用者が多いという施設特性により、システムの仕様も異なることから、他県施設などの導入事例を参考するなどして、導入システムを検討してまいります。

(5) 新たな取組の事業化を進める仕組づくり

①事務所チャレンジ支援事業

事業によって導入された機器

令和 6 年度に新たな収益構造を見つける機会創出として「事務所チャレンジ支援事業」を実施し、各事務所に募集した結果、向浜スポーツゾーン総合事務所における「トレーニングルーム整備事業」を採択しました。

令和 7 年度も各事務所には複数年で収益化が図られる事業や導入経費が高額となるが収益率の高い事業などの提案を募集し、公社の新たな収益事業の企画や検討を支援してまいります。

②中央公園ハルノ市

中央公園事務所では多様な利用者層への来園機会創出を目的に、新たにクラフトイベント「中央公園ハルノ市」を企画しました。令和 7 年 3 月 15 日・16 日には多くの方が来場され、新たな利用者層を創出することができたイベントとなりました。令和 7 年度についても引き続き開催してまいります。

③県立野球場の新たな利用～ミュージックフェスティバル～

県立野球場は令和 6 年 6 月より、施設内の漏水対策として屋外観覧席の防水修繕工事のため休場となっておりましたが、令和 7 年 4 月より供用が再開されます。

これまでは競技利用のみ貸出しておりましたが、令和 7 年 10 月にミュージックフェ

スティバル（屋外音楽フェス）を開催予定です。施設の管理者として主催者に協力しながら、新たな利活用方策に挑戦してまいります。

2. 人財

(1) 新たな研修計画の開始

①第２期研修計画の開始及びポイント

第３期計画の、「公社で働く社員は企業価値を創出する財（たから）である」との認識に基づき策定した「第２期研修計画」を令和７年度から実施してまいります。

「情報が人をつなぎ、人が情報をつなげていく」仕組みづくりを目指すため、新たに主任から管理職級の社員を対象にした「フィードバック面談・コーチング研修」を３ヶ年で実施してまいります。研修はコーチングの手法である「傾聴」「承認」「発問」等を実践的に学び、社員間の知見や技術を職場内に共有し、チームで目標を達成できる組織の実現を目指していく内容としております。また、管理施設は様々な利用者が集まる施設であることを踏まえ、社員をカスタマーハラスメント被害から守ることを目的に「クレーム対応・カスハラ対応研修」を実施してまいります。

②女性活躍支援

ＳＤＧｓや一般事業主行動計画に定めている、女性総合職社員の役付き職への一定数の登用等を目指すため、秋田市が実施しているキャリアデザインセミナーなどを受講いたします。

(2) 部下社員による上司評価の試行

令和５年度に「部下社員による上司の評価」の社員提案があり、令和６年度に運営本部事務局と一部事務所で試行的に実施しました。今後は実施によるメリット・デメリットを検証してまいります。

(3) 賃金水準の向上及び安全安心な就労環境の整備

社会経済情勢を踏まえ、人材確保に向けた取組として社員給与の引上げを含めた給与制度の見直しを実施してまいります。また、社員のＱＯＬ（クオリティ・オブ・ライフ）の充実を図るため、年次有給休暇の積極的な取得促進や、要望に配慮した勤務態勢の調整に努めてまいります。引き続き、所属長などが社会保険労務士と相談できる日を定期的に設定します。さらに、子育てや介護と仕事の両立支援を進めるため、関連規程の一部改正を行い、令和７年４月から施行します。

3．社会貢献

(1) 事業活動を通じての社会貢献の取組

公社では、これまでも公共施設の管理運営という事業活動を通じて、社会貢献に寄与してまいりました。さらに、健康増進に関する教室の開催や地域のにぎわい創出イベントなどへの参画などにより、自主事業を通じた社会貢献も取り組んでまいります。

(2) 障がいのある方への音楽鑑賞機会の提供

あきた芸術劇場では、令和 6 年度に文化庁からの助成を受け「第 2 回大いなる秋田定期公演」において、視覚や聴覚の不自由な方が快適に音楽鑑賞できる機会の提供を目的とした「鑑賞支援サービス」を実施しました。令和 7 年度も鑑賞支援サービスを行ってまいります。

(3) 協議会や業界イベントへの参加を通じた社会貢献の取組

①各事務所での熊対策および雄和椿川地区熊対策協議会の取組

熊による被害が増加しているため、熊対策用に市街地の事務所でも熊忌避スプレーに加え、轟音玉（ごうおんだま）も準備してまいります。轟音玉の取扱いには動物駆逐用煙火保安教育講習を受講する必要があるため、事務所で取扱いできるよう社員の受講を勧めてまいります。

また、中央公園事務所では、雄和椿川地区にある株式会社雄和振興公社や公立大学法人国際教養大学など 7 機関で組織する「雄和椿川地区熊対策協議会」を令和 2 年度に設立して、地域で様々な熊対策を行ってきております。協議会では地域の草刈り作業の他、令和 8 年 1 月開催予定の「中央公園冬まつり」内にブースを設けて、パネルで活動を紹介することとしております。

②あきたエコフェス

第 22 回あきたエコフェス

環境保全事務所では、循環型社会への貢献と環境意識の向上を目的とした「あきたエコフェス」へ平成 29 年度より継続参加し、出展ブースでは産業廃棄物の処理過程やビオトープに生息しているトンボなどの昆虫をパネルで紹介し、来場者に説明してまいりました。令和 7 年度も同様に参加する計画としております。

(4) ＳＤＧｓ活動の継続と進捗状況の把握

ＳＤＧｓ活動に関しては事業活動を通じて行っていくことを基本としながら、9 項目の目標を定めて推進しておりますが、「健康を提供するための施設利用を促進する。」「有害物質の適切な処理・管理に努める。」「女性が活躍できる職場づくりに努める。」の 3 項目については、県に登録し重点的に取り組んでまいりました。

3 項目の令和 6 年度までの進捗状況は表のとおりです。達成済みの項目は引き続き維持する努力を、未達成の項目については達成に向けて努力を継続してまいります。

2030 年に向けた指標	数値目標（令和 4 年時の目標）	令和 6 年度現在
健康増進自主事業として運動と認知のトレーニング、ノルディックウォーキングや健康応援教室等の実施回数を増加する。	年間 30 回開催	年間 43 回開催
最終処分場放流水を活用した施設内ビオトープの生態系維持に適切な水質を確保する。	①ＣＯＤ（化学的酸素要求量）：20ｍｇ/Ｌ以下 ②ＢＯＤ（生物化学的酸素要求量）：10ｍｇ/Ｌ以下	①平均ＣＯＤ：1.6ｍｇ/Ｌ ②平均ＢＯＤ：0.6ｍｇ/Ｌ
係長以上の女性社員数を増加させる。	8 名	6 名

(5) 地域活動への参加と協力

あきた芸術劇場ミルハスでは、中心市街地活性化を目的に秋田商工会議所が中心となって行う「広小路バザール」や「ロータスフェスティバル」と連携し、劇場内で親子が楽しめるイベントを開催してまいります。

(6) アンケートによる利用者ニーズの把握

公社オリジナルノベルティの
クリアファイル

公社では利用者ニーズを把握するため、アンケート調査を行っております。「フレンドリー応援サポーター制度」の実施や「アンケート収集強調月間」に公社オリジナルノベルティグッズをプレゼントする取組みを行い、利用者ニーズの把握を努めてまいります。

また、広報誌「みんなのスポーツ・カルチャー」にＱＲコードを付記し、Ｗｅｂでアンケート収集を行うなどの工夫をしてまいります。

4. 協働

(1) 利用団体と一体となった広報や普及活動による利用促進

①秋田県武道協議会、公立武道館協議会との協働

県立武道館では、地域社会における武道の普及振興を図る目的に、施設を利用している武道（術）競技９団体と一緒に「秋田県武道協議会」を設立しております。協議会では、武道振興策等を検討する武道推進検討委員会会議の開催、武道教室の開催や施設内にある武道ライブラリーへ情報提供しております。

また、県立武道館が中心となり、県内の公立武道館と連携した「公立武道館協議会」では、地域社会武道指導者研修会などの開催を行っております。また、武道人口の裾野拡大を目的に秋田県武道協議会と共催で、年１回「秋田県武道まつり」を計画し、武道（術）競技に関心を持ってもらう機会や競技者同士の交流の場を提供してまいります。

②トップスポーツチームとの協働

秋田県のトップスポーツチームである秋田ノーザンハピネッツと秋田ノーザンブレッツと協働し、小学生にスポーツを楽しむ機会を提供し、トップスポーツチームへの興味を持っていただく場として、「夏休み！キッズチャレンジスポーツ 2025」を令和７年７月に県立体育館で企画しております。

(2) 従来の利用団体以外との協働

①エリアを共有する団体との協働

あきた芸術劇場ミルハスでは、中心市街地活性化を目的に近隣の秋田市立図書館「明徳館」、秋田市文化創造館、秋田市にぎわい交流館ＡＵと協働して「ミルハス　フリー・オープン・デイ」を企画し、施設周辺施設との回遊性の向上に取り組んでまいります。

②県立図書館との協働

令和２年度から県立図書館との協働事業として、借り受けた図書を県立総合プール内ロビーに図書スペースを設けております。特に自主事業で来館された児童とその保護者に活用していただいており、引き続き実施してまいります。

県立図書館でのパネル展示風景

また、令和６年度に県立図書館と公社が共催で管理施設の活動を紹介するパネル展を県立図書館ロビーで開催いたしました。公社以外の施設と連携して公社管理施設をＰＲする機会として、令和 7 年度も継続して開催を計画してまいります。

③クラフトイベント団体との協働

中央公園ハルノ市 開催風景

中央公園事務所では多様な利用者層への来園機会創出を目的に、新たにクラフトイベント「中央公園ハルノ市」を企画し、秋田ふるさと村等でイベント開催の実績がある学校橋雑貨店と協働して令和７年３月に開催しました。県内外合わせて 98 組の陶芸・手芸等の作家やショップと６台のキッチンカーが出店し、多くの来園者が訪れ新たな利用者層を創出することができましたので、令和７年度も開催いたします。

④秋田県レクリエーション協会との協働

秋田県レクリエーション協会とは施設を活用したイベントで協働しております。向浜スポーツゾーンで開催される「向浜こどもスタンプラリー」、県立中央公園で開催される「夏休み思い出つくり隊」や「中央公園冬まつり」、あきた芸術劇場で開催される「こどもプレイルーム」において、レクリエーション協会によるニュースポーツの紹介等を通じて施設の利用促進を図ってまいります。

⑤秋田ケーブルテレビとの協働

秋田ケーブルテレビと協働して、令和 6 年度から秋田拠点センターアルヴェのスタジオで放送している「し～なチャン」に公社社員が不定期に出演し、施設に足を運んでいただけるスポーツイベントや文化事業の情報提供を行っております。令和 7 年度も秋田ケーブルテレビにニュース価値の高い情報提供し、公社の事業活動をＰＲしてまいります。

⑥秋田観光コンベンション協会との協働

令和 6 年度から（公財）秋田観光コンベンション協会の賛助会員に加入いたしました。令和７年７月に開催される「第 46 回全国廃棄物処理公社等連絡協議会主管者会議」では、県外からの参加者も多数いることから協力を依頼しております。今後は、管理施設を会場としたＭＩＣＥなどの学会等の利用における情報提供などで協働し、管理施設の利用促進につながるよう取り組んでまいります。

⑦企業間協働の仕組づくり

これまで交流機会が少なかった異業種の企業と意見交換や研修を行う仕組みづくりを検討してまいります。このような仕組みを活用して、公社単独では解決できない課題の解決に取り組んでまいります。

(3) 各種団体との協働による「かまくまくん」商品化プロジェクト

商品化されたグッズ

令和４年度に秋田公立美術大学附属高等学院と協働してスケート場デザインプロジェクトを開始し、その中でキャラクター「かまくまくん」が誕生しました。商品化に向け公社内でプロジェクトチームを設置し、令和６年 12 月にＬＩＮＥスタンプと軍手（手袋）の販売を開始しました。令和７年度は新たにぬいぐるみの商品化を計画しております。また、かまくまくんの着ぐるみを制作し、着ぐるみの露出による県立スケート場のＰＲも実施いたします。

Ⅲ　定時評議員会及び理事会

第１回理事会　令和７年５月
定時評議員会　令和７年６月
第２回理事会　令和７年６月
第３回理事会　令和８年３月

Ⅳ　指定管理運営事業

1. 指定管理施設一覧

区　　分	施　設　名　称
環境保全施設	秋田県環境保全センター
スポーツ施設	秋田県立体育館、秋田県立武道館、秋田県立総合射撃場、秋田県立総合プール、秋田県立野球場、秋田県立向浜運動広場、秋田県立スケート場
文化施設	あきた芸術劇場ミルハス
公園施設	秋田県立中央公園

2. 業務受託施設一覧

区　　分	施　設　名　称
医療施設	秋田県立循環器・脳脊髄センター、秋田県総合保健センター
環境保全施設	旧能代産業廃棄物処理センター

3. 指定管理施設の利用目標一覧

本県人口が減少し続けている中で、いかに管理施設の利用目標を達成していくかは大きな課題です。毎月定例で開催する経営幹部会議において、各施設が設定する施設利用目標の進捗状況を確認し、目標管理してまいります。

単位：秋田県環境保全センターのみ（ｔ）・その他施設（人）

施設区分		目標値（人）		比較増減	
		令和6年度（A）	令和7年度（B）	実数（B−A）	増減率（%）
環境保全	秋田県環境保全センター	41,000	ア 35,000	△6,000	△15%
文化	あきた芸術劇場ミルハス	350,000	350,000	0	0
スポーツ	秋田県立体育館	54,700	イ 48,500	△6,200	△11%
	秋田県立武道館	225,000	ウ 186,000	△39,000	△17%
	秋田県立総合射撃場（狩猟技術訓練施設）	800	エ 1,150	350	44%
	秋田県立総合射撃場（ライフル射撃場）	2,000	オ 1,700	△300	△15%
	秋田県立総合プール	128,300	118,000	△10,300	△8%
	秋田県立野球場	17,200	カ 70,450	53,250	304%
	秋田県立向浜運動広場	9,820	キ 16,450	6,630	68%
	秋田県立スケート場	62,490	66,440	3,950	6%
公園	秋田県立中央公園	489,000	504,000	15,000	3%
合計（文化・体育・公園施設）		1,339,310	1,362,690	23,380	2%

【目標値、比較増減についての特記事項】

ア 秋田県環境保全センター：県が定めた目標値（産業廃棄物の処分量（トン））
イ 秋田県立体育館：東北規模の大会数の減少、Wリーグの開催見込み数が減少するため
ウ 秋田県立武道館：大規模催事の中止や大会規模の縮小、県外開催への変更が見込まれるため
エ 秋田県総合射撃場（狩猟技術訓練施設）：令和6年度実績見込みに準拠して設定
オ 秋田県総合射撃場（ライフル射撃場）：令和6年度実績見込みに準拠して設定
カ 向浜スポーツゾーン（県立野球場）：改修工事終了による営業再開及び大型イベント等開催のため
キ 向浜スポーツゾーン（県立向浜運動広場）：県立野球場再開による同時利用増加のため

4. 各事務所の第3期経営計画目標進捗状況

第3期計画の中で、5年間で達成する目標を設定した各事務所のビジョンあるいは活動方針の進捗状況を見える化するため、令和7年度分の取り組み及び数値目標を設定し、達成に向けて取り組んでまいります。

区分	ビジョンあるいは活動方針	数値目標(令和7年度)
環境保全事務所	【ＳＤＧｓの取組】 ビオトープの水質基準の徹底と施設見学者への活用。	①水質基準　令和7年度 ＢＯＤ：<10mg/l ＣＯＤ：<20mg/l ②施設見学案内件数 令和7年度　　5件
あきた芸術劇場事務所	【人材育成、施設の利用促進および賑わい創出】 年間利用者数 35 万人を確保するとともに、中心市街地の賑わいづくりに貢献する。	年間利用者数 令和7年度　　35万人
県立体育館事務所	【施設の利用促進】 コロナ禍・工事による長期休館前の利用者人数を上回ることができている。	令和7年度チラシ配布目標 ・配布地域の拡大 ・配布回数：年2回
武道館事務所	【施設間連携による管理体制の強化】 次期指定管理者募集においては、武道館と向浜スポーツゾーンが一体化された募集、また、利用料金併用制の導入となることから、管理体制も含めた対応を検討する。	月 2 回以上の打ち合わせを実施。
	【予約システムによる業務効率化】 ①予約システムによる受付業務の効率化と利用者の利便性の向上を図る。 ②予約システムの機能の理解を深め、有効な活用を図ることで、業務の効率化と業務量の減少に努める。	①予約システムの利用者登録 令和7年度の目標　　48件 ②予約システムを活用することで、行事予定表の作成及びウェブサイトへの公開作業に要する業務時間を最小化する。

中央公園事務所	【施設の魅力アップと利便性の向上】 　次期指定管理業務を引き続き担い、利用者や社会のニーズを把握しながら、施設の魅力アップと利便性の向上を図り、新たな利用層の開拓や平日利用の向上につなげることなどにより、人口減少下にあっても、利用者の増加と収益の確保が図られている。	①関係機関等との連携による取組件数 令和７年度　５件 ②予約システムの導入 令和７年度　キャンプ場　４月
	【新規自主事業の企画】 　新たな自主事業を立ち上げることにより、施設の魅力発信と地域の賑わい創出が図られるとともに、施設の活動が親子のふれあい交流の促進などの社会貢献活動として展開されている。	新規自主事業の立ち上げ件数 令和７年度　１件
	【地域との連携による安全・安心な管理運営】 　地区の各機関による雄和椿川地区熊対策協議会や関係機関との連携・協働により、安全・安心な管理運営がなされている。	地域との協働による熊対策取組件数 令和７年度　３件
向浜スポーツゾーン総合事務所	【委託事業の直営化】 　県立野球場で業者委託している芝管理業務の直営化を拡大し、経費削減に努める。また、他球場の芝管理の状況や業務について知見を深めるために施設視察を行う。	①委託費用 　令和７年度　4,300 千円 ②令和 7 年度　はるか夢球場（青森市）視察予定
	【必要資格保有者の確保と計画的な資格取得】 　各施設で必須の資格があることから、積極的に資格を取得させることで、有資格者の維持と個々のスキルアップを図る。	＜資格者数＞ ①水泳指導員５人を維持 ②プール衛生管理者３人を維持 ③日赤救助員３人を維持 ④芝草管理技術者３人を維持 ⑤緑の安全管理士３人を維持 ※第３期計画より一部変更あり

総合射撃場事務所	【ビームライフル射撃の利用者拡大】 企業(職場)及び地域での射撃チーム作り、あるいは学校単位による団体利用の促進などにより利用者数の安定、定着が図られている状態を目指す。	①行事組入校 令和7年度　3 校 ②職場チーム 令和7年度　3チーム
循環器・脳脊髄センター事務所	【データベースのさらなる活用】 施設管理業務のデータベース化が一層促進されている。	データベース活用 施設管理データ保存に関して『令和3年度～令和6年分』を入力する。

V　事業の実施計画

1. 文化・スポーツ普及振興事業（公益目的支出計画に基づく事業として実施）

県立武道館において文化普及事業を実施するとともに、県立武道館以外の各施設で実施する公益性の高いスポーツ普及振興事業やレクリエーション事業を、文化・スポーツ普及振興事業として実施します。

(1) 文化普及事業

主　催　施　設	内　　容
秋田県立武道館	【伝統文化継承事業】 ・和太鼓教室 （基本講座6月～7月・応用講座10月～11月　年2期） ・書道教室（11月～12月）

(2) スポーツ普及振興事業

主　催　施　設	内　　容
秋田県立総合プール	【イベント事業】 ・施設探検ツアー（令和8年1月） 特別点検期間中に水の入っていないプールを利用し、天井裏や機械室等の舞台裏を含めた施設見学を通して、より施設への理解を深める機会を提供する。
秋田県立スケート場	【イベント事業】 ・クリスマスフェスティバル（12月） ・バレンタインイベント（令和8年2月）

秋田県立中央公園	【イベント・レクリエーション事業】 ・県立中央公園冬まつり（令和８年１月） 秋田県レクリエーション協会と連携したニュースポーツの体験、自衛隊秋田地方協力本部・秋田東警察署と連携した特殊車両等の展示や記念撮影を行うことで、公園のにぎわいを創出し、冬の思い出づくりに寄与する。

県立中央公園冬まつり
（迷路にチャレンジ）

第 17 回秋田県武道まつり
（於ＡＬＶＥきらめき広場）

2. スポーツ振興事業（公益目的支出計画に基づく事業として実施）

県立武道館において、各種武道教室等を開催するとともに、各武道団体の日頃の修練の成果を発表する機会を設けるなど、武道の普及振興を図る、スポーツ振興事業として実施します。

主　催　施　設	内　　容
秋田県立武道館	【スポーツ教室事業】 ・剣道教室（通年） ・初心者柔道教室（5 月または 10 月） ・太極拳教室（6 月～7 月・9 月～10 月　年 2 期） ・親子スポーツチャンバラ教室 （7 月～8 月・12 月～令和 8 年 1 月　年 2 期） ・初心者銃剣道教室（7 月～8 月） ・少林寺拳法で護身術体験教室（8 月～9 月） ・初心者合気道教室（10 月） 【イベント事業】 ・県立武道館施設探検ツアー（9 月） 各道場等、普段入ることのない諸室等を社員の説明付きで案内する見学会を実施する。

	・第 18 回秋田県武道まつり（令和８年１月） 　県内各武道（術）団体と連携し、広く県民に武道を紹介して理解を深めるとともに、団体の日頃の修練の成果を共有し、秋田県の武道のより一層の振興を図る。

3. 芸術文化発信事業

県民・市民が芸術文化に触れる機会を拡大し、国内外に秋田の文化や芸術を発信する事業を芸術文化発信事業として実施します。

主　催　施　設	内　　容
あきた芸術劇場 ミルハス	【芸術性の高い公演・文化芸術を国内外に発信する事業】 ・［新］開館３周年記念　わらび座ミュージカル 「秋田は何もない」ミルハス特別公演（9 月） ・［新］開館３周年記念　K-BALLET OPTO 公演 「遠野物語」（令和８年１月） ・あきた民謡フェス vol.3（令和８年３月）

4. 収益事業

施設の特性を活かし収益性を考慮した、付加価値の高いスポーツ教室・イベント等を開催し、スポーツ人口の増加や健康づくりの機会を提供します。

主　催　施　設	内　　容
企画事業部	【スポーツ交流事業】 ・夏休み！キッズチャレンジスポーツ 2025（7 月） （トップスポーツチームと子ども達との交流事業）
秋田県立体育館	【スポーツ教室事業】 ・アクティブクラブ キッズ・ジュニア（通年） ・ノルディックウォーキング（4 月～11 月　年８回） ・ゆっくりかんたんヨガ（通年） ・貯筋クラブ（通年） ・シニアからはじめるヒップホップ（通年） ・シニアボクシングエクササイズ＆エアロ（通年） 【イベント事業】 ・坐禅会（6 月・10 月） 【文化育成事業】 ・陶芸教室（8 月） ・フェイクスイーツ教室（8 月・12 月）

秋田県立武道館	【スポーツ教室事業】 ・健康応援教室（通年） 【イベント事業】 ・幼児教室（6 月～7 月・9 月～10 月　年 2 期） ・ベビーマッサージ＆サイン教室 （6 月～7 月・9 月～10 月　年 2 期） ・フラダンス教室（6 月～7 月・9 月～10 月　年 2 期）
秋田県立総合射撃場	【スポーツ教室事業】 ・岩城小学校射撃クラブ支援事業（6 月～12 月） 【イベント事業】 ・春季 家族対抗ビームライフル射撃大会（5 月） ・[新]チームで対抗！ビームライフル射撃大会（7 月） ・秋季 家族対抗ビームライフル射撃大会（11 月）
秋田県立総合プール	【スポーツ教室事業】 ・キッズスイミング（通年　年 3 期） ・ジュニアスイミング（通年　年 3 期） ・レッドシャークス（上級ジュニアスイミング） （通年　年 3 期） ・おとなのためのスイミング（通年　年 3 期） ・親子 de レスキュー～水上安全法を学ぼう～（7 月） ・ベビースイミング（7 月～9 月） ・キッズサマースイミング（7 月～8 月） ・ジュニアサマースイミング（7 月～8 月） ・長崎宏子のＳＷＩＭ　ＴＯ　ＳＭＩＬＥ！（8 月） 秋田県と共催し、県立総合プールの名誉館長である長崎宏子氏による親子の絆を深める水泳教室を開催する。
秋田県立スケート場	【スポーツ教室事業】 ・キッズスケート教室（11 月～令和 8 年 2 月　2 期） ・ジュニアスケート教室（11 月～令和 8 年 2 月　2 期） ・ステップアップスケート教室 （11 月～令和 8 年 2 月　2 期） ・放課後スケートクラブ（11 月～令和 8 年 2 月　2 期） ・個人レッスン（11 月～令和 8 年 2 月） ・冬休みスケート教室（12 月～令和 8 年 1 月　2 期） ・スケート初心者教室（12 月～令和 8 年 2 月）

秋田県立野球場	【スポーツ交流事業】 ・こまち杯争奪選抜軟式野球大会 （一般の部、学童の部）（未定）
秋田県立向浜運動広場	【スポーツ教室事業】 ・向浜テニス教室（4 月～10 月　年 3 期）
秋田県立中央公園	【イベント・レクリエーション事業】 ・夏休み思い出つくり隊 2025（8 月） ・秋の謎解き大冒険（10 月） ・中央公園ハルノ市（令和 8 年 3 月） 県内でクラフトフェアの運営を手掛ける学校橋雑貨店と連携し、クラフトフェアを開催する。雄和地区の作家にも出店していただき、地域連携・地域活性化を図る。 【スポーツ交流事業】 ・[新]蹴ったバイクレースＩＮ中央公園　（未定） ムラサキスポーツ秋田店と連携し、ペダルやブレーキのないストライダーを使用して、普段中央公園を利用することの少ない幼児を対象としたイベントを開催することにより、幼児の運動機会の創出や利用層の拡大を目指す。 ・第 9 回ＳＫＹ－Ｄリーグサッカー交流会 （令和 8 年 3 月） 秋田県サッカー協会と連携し、スカイドームを会場として、サッカーを通じて小学生の健全育成と親睦を図る。

5. 人財育成事業

(1) 第 2 期研修計画の概要

第 3 期計画に掲げる「挑戦」「人財」「社会貢献」「協働」の将来像を実現していくため、第 1 期研修計画（R4～R6）の成果と課題を踏まえ、令和 7 年度から令和 9 年度の 3 年間を対象とした第 2 期研修計画を以下の方針から策定しました。

第 2 期研修計画策定方針	研　　修　　名
【新規】現状課題を解決するための研修	社外との合同研修 フィードバック面談・コーチング研修 ＤＸ人材育成研修
【継続】対象者全員の受講が未完了の研修やニーズの高い研修	無期転換研修 自律的思考獲得研修（～R7） 女性活躍推進研修 救急救命講習

【継続・改】ニーズに特化した顧客対応研修	クレーム対応・カスハラ対応研修
【休止】対象者数が少ない研修	マネジメント研修 コンプライアンス研修　等

(2) 令和７年度の研修計画の概要

令和７年度に実施する研修は以下のとおりですが、「【新規】社外との合同研修」については、参画企業などの選定等調整を図り、令和８年度以降の研修開始を目指します。

研　修　区　分	内　　容
育成研修（指定研修）	［新］【フィードバック面談・コーチング研修】 （7 月～11 月） 主任から管理者層を対象に、社員の自発的な活動と成長を支援するため、部下指導のスキルを学び、組織力の向上を図る。（全２回） ［新］【ＤＸ人材育成研修】（4 月～9 月） ＤＸ推進の意識を各事務所・各部署内で醸成し、ＤＸを推進する人材を育成する。 【無期転換社員研修（昇進時研修）】（5 月） 契約社員（有期雇用）から限定社員（無期雇用）に転換した社員の資質向上を図る。 【自律的思考獲得研修】（7 月～11 月） 主任から課長補佐級の中堅層を対象に、セルフマネジメント等、自律的思考方法への理解を深め、組織活性化を図る。（全３回）
選択研修（自己啓発研修）	［新］【クレーム対応・カスハラ対応研修】（10 月） クレーム対応・カスハラ対応について職場の課題を持ち寄り具体的に学ぶ。 【e ラーニング】（7 月～12 月） 全社員を対象に、自発的な学習を支援し、社員の資質向上を図る。（ニーズ調査後継続の可否を判断） 【集合研修】（4 月～令和８年３月） 秋田商工会議所主催「凌雲塾」等の外部機関が主催する研修の受講を支援し、社員の資質向上を図る。 【普通救命講習・上級救命講習】（5 月、7 月） 秋田消防署より講師を招き、ＡＥＤの使用方法等人命救助方法を学び、社員の緊急時対応能力の向上を図る。

6. 連携・協働事業

(1) 施設間連携事業

各施設が連携し、多様なイベントを開催することにより、利用者の増加を図ります。

実 施 施 設	内　　容
向浜スポーツゾーン 秋田県立武道館 秋田県立総合射撃場 （出前講習）	【向浜こどもスタンプラリー】（5 月） 向浜スポーツゾーンにある 4 施設連携型のスタンプラリーを開催し、ビームライフル射撃体験や武道体験など、子ども達に様々なスポーツにふれる機会を提供する。
向浜スポーツゾーン 秋田県立武道館	【大規模イベントでの駐車場の融通】 県立武道館や県立野球場でイベント開催時に施設駐車場の不足が見込まれる場合、向浜スポーツゾーンや県立武道館の駐車場を融通して相互利用する。

(2) 企業・団体との連携・協働事業

企業、各種団体や地域団体へ魅力ある企画を提供し、社会貢献と企業等のイメージアップを図るため企業・団体等との連携・協働事業を実施します。

実 施 施 設	内　　容
あきた芸術劇場ミルハス	【ミルハス　フリー・オープン・デイ】（5 月） 周辺施設と連携して施設開放イベントを開催。（マルシェイベントやワークショップ、オープンステージ等） 【吹奏楽・指揮者クリニック】（6 月） アドバイザーの佐々木新平氏が正指揮を務める東京吹奏楽団と連携し、楽器別および指揮者のクリニックを実施する。 【「ロータスフェスティバル」との連携】（未定） 秋田商工会議所と連携し、主として大人（夜間）を対象としたイベントを開催する。 【「広小路バザール」との連携】（未定） 秋田商工会議所と連携し、家族連れを対象とした関連イベントを開催する。 【周辺団体と連携した文化活動事業】（未定） 周辺団体と協力し、若者向け等の音楽演奏やトーク、食文化講習会などを企画する。 【ミルハスフォトコンテスト】（年 2 回） ミルハスを含む「お堀端の風景」をテーマにフォトコンテストを開催し、優秀作品を 1 階「千秋の路」に展示。

秋田県立体育館	【夏休み！キッズチャレンジスポーツ 2025】（7 月）（再掲） 【坐禅会】（6 月・10 月） 　臨済宗妙心寺派「不道会」と連携し、僧侶から直接坐禅の基本的な知識を学び、心身を整える機会を提供する。
向浜スポーツゾーン 秋田県立武道館 秋田県立総合射撃場 （出前講習）	【向浜こどもスタンプラリー】（5 月）（再掲）
向浜スポーツゾーン 秋田県立中央公園	【にぎわい創出のためのキッチンカー等飲食物出店】 　各自主事業開催時にキッチンカー業者等と連携し、飲食物の提供をしていただくことで、にぎわい創出を図る。
秋田県立武道館 秋田県立武道館	【新春書初め席書大会】（令和 8 年 1 月） 　秋田魁新報社・秋田県書道連盟と共催で、幼児から一般までそれぞれの書体や課題に応じて書初めを行うと同時に、各種デモンストレーションにより、県立武道館のＰＲに努める。 【第 18 回秋田県武道まつり】（令和 8 年 1 月）（再掲）
秋田県立総合プール	【県立図書館連携事業】（6 月～令和 8 年 3 月） 　県立図書館から蔵書図書を借用し、施設来場者が気軽に本や活字に触れられる場を提供する。 【長崎宏子のＳＷＩＭ ＴＯ ＳＭＩＬＥ！】（8 月）（再掲）
秋田県立スケート場	【かまくまくんプロジェクト】 　令和 4 年度に秋田公立美術大学附属高等学院と連携して創出された「かまくまくん」について、着ぐるみを制作し公社や地域のイベントに出演して、県立スケート場の利用促進と商品の販売促進を図る。
秋田県立中央公園	【県立中央公園冬まつり】（令和 8 年 1 月）（再掲） 【ＳＫＹ－Ｄリーグサッカー交流会】（令和 8 年 3 月）（再掲） 【中央公園ハルノ市】（令和 8 年 3 月）（再掲） ［新］【蹴ったバイクレースＩＮ中央公園】（未定）（再掲）
企画事業部 （県立図書館）	【県立図書館協働事業】 　令和 6 年度、県立図書館エントランスにおいて環境保全センターに関するパネル展示を実施し好評を博したため、令和 7 年度も公社管理施設の特徴や楽しみ方などを紹介できないか対象施設を検討していく。

夏休み！キッズチャレンジスポーツ

ミルハス フリー・オープン・デイ

7. 社会貢献事業

公社では、自主事業や施設利用の中で環境保全活動や地域清掃活動、地域行事への参加などの社会貢献に取り組んでまいります。また、研修や社内広報をすることで社員の社会貢献への意識向上を図ります。

実施施設	内容
あきた芸術劇場ミルハス	【こどもプレイルーム】（未定） 秋田市中心市街地を会場とした催事「広小路バザール」との連携事業として、秋田県レクリエーション協会の協力を得て、子ども向けのゲームを実施する。 【ロータスフェスティバル】（未定）（再掲）
秋田県立中央公園	【雄和椿川地区熊対策協議会】 熊対策活動として、地区の雑草や雑木の刈り払い、熊への注意喚起看板の保守、鳥獣害アラーム設置を予定している。啓発活動として、国際教養大学の４月・９月入学生を対象に熊の生態や対策などの講演会の実施や「中央公園冬まつり」で活動パネルを紹介する。 【ダリア倶楽部による中央花壇整備】（通年） 公園の美観整備を目的に、地域住民やダリア愛好家と協働で中央花壇にダリアの球根の植え付け等を行う。
向浜スポーツゾーン	【向浜エリアのクリーンアップ活動】（通年） 環境美化を目的に、秋田市向浜地区に所在する団体と共同で向浜エリアの「テクノリサーチゾーン」及び「向浜スポーツゾーン」のクリーンアップ活動を年３回実施する。１回目の実施は４月予定。

環境保全センター	【ビオトープの維持管理】（通年） 　生物環境の維持と保全に努め、環境学習の視察等に対応するため、環境保全センター内にあるＤ区処分場ビオトープで毎月水質調査を実施する。 【あきたエコフェス】（10 月） 　循環型社会への貢献と環境意識の向上を目的とした上記イベントに出展し、産業廃棄物の適正処理、ビオトープにおける生物・生態環境の維持活動などの環境保全業務への取り組みを紹介する。 【第 46 回全国廃棄物処理公社等連絡協議会主管者会議】（7 月 10 日～11 日）開催地：秋田県 　全国から公共関与の産業廃棄物処理施設管理者が一堂に会し、意見交換を実施し公社の活動を内外に提示する。 　業界内の共通した検討課題や、環境省による先進事例を紹介する。 【秋田県産業資源循環協会】（令和 8 年 1 月） 　秋田県内の産業廃棄物事業者のための研修会。 【市道（搬入道路沿線）および古種沢川のクリーンアップ活動】（通年） 　搬入道路沿線の投棄ごみ減少を目的に、道路のクリーンアップを 4 月に 2 回、5 月～10 月に各 1 回実施する。古種沢川のクリーンアップを 4 月に実施する。

クマ対策協議会
草刈り作業の様子　中央公園

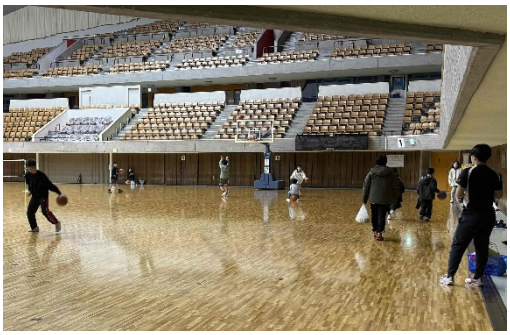
古種沢川周辺のクリーンアップ活動
環境保全センター

8. 施設開放事業

公社が管理運営を行う各施設を気軽に楽しく利用していただくことを目的に、こどもの日、スポーツの日などの祝日やイベント開催時等に施設の開放事業を行います。

事業名	内容	実施施設
無料開放事業	こどもの日（5/5）、県の記念日（8/29）、スポーツの日（10/13）に施設無料開放を行い、親子や仲間で気軽に楽しく施設を利用していただき、リピーター拡大の機会とする。	秋田県立武道館 秋田県立総合プール 秋田県立中央公園 秋田県立総合射撃場 （ライフル棟のみ）
	スケート場のオープン日、クローズ日、及びクリスマスイベントの開催日に、小中学生の滑走料無料サービスを実施する。	秋田県立スケート場
一般開放事業	「スポーツを楽しむ日」を設け、原則として毎週火曜日と木曜日、個人利用者向けの施設開放を行う。（有料）	秋田県立体育館
	大会・イベント開催等のない平日の昼間に大道場を一般開放し、個人利用者向けの施設開放を行う。（有料）	秋田県立武道館
団体開放事業	普段は利用できない団体に対し、「県民開放日」（大会、イベント等が入っていない日）を設け、施設を開放する。（有料）	秋田県立野球場
施設見学会事業	バックステージツアー（令和 8 年 1 月） 冬休みを利用し、家族連れなどを対象に、日頃見ることのできないステージ裏や楽屋の見学会を実施する。	あきた芸術劇場 ミルハス
	施設探検ツアー（令和 8 年 1 月）（再掲）	秋田県立総合プール
	県立武道館施設探検ツアー（9 月）（再掲）	秋田県立武道館

県立武道館「施設探検ツアー」



県立体育館「スポーツを楽しむ日」

9. 広報事業

各施設におけるスポーツ・レクリエーション、芸術文化等に関する取組内容を広報誌やウェブサイトへ掲載して情報発信に努めます。

各施設の広報担当社員と情報交換会を開催し、よりよい広報手段について話し合い、効果的な情報提供について検討いたします。更に、新聞への寄稿やパブリシティなども活用して、積極的に情報発信してまいります。

広報の方法	内　　容
広報誌等の発行	スポーツ・レクリエーションの普及振興と、施設の利用促進を図るため「みんなのスポーツ・カルチャー」（春・秋2回各5,000部程度）を発行し、全国健康保険協会秋田支部加入団体、及び県内各小中学校をはじめ大学や主要公共施設等に配布するとともに、ウェブサイト上にも公開する。 公社の四半期リポートを作成し、県所管課担当者や公社理事・評議員等の関係者に配布する。
ウェブサイトの運用	公社のウェブサイトを通じて、施設の予約状況（貸館空き情報）、主催事業の案内や各施設へのアクセス等に関する情報を発信する。また、ＳＮＳを活用し、主催事業開催時の様子や施設周辺の景観などを紹介する。
ウェブサイトのリニューアル推進	運用しているウェブサイトについて、利用者・運用側それぞれの利便性の向上を目的にリニューアルを図る。
パブリシティの活用	県政記者クラブや秋田市企画財政部広報広聴課（広報あきた）へ公社自主事業の広報を行う。

「週刊さきがけ スポーツ」への寄稿	「週刊さきがけスポーツ」の「県内スポーツだより」に2ヵ月に1回、公社が管理運営しているスポーツ施設運営の苦労話、裏話や自主事業の話題などを寄稿する。(令和3年度からの継続事業)
秋田ケーブルテレビ番組 「し～なチャン」への出演	秋田拠点センターアルヴェ内スタジオで、平日に公開生放送されている「し～なチャン」に社員が出演し、公社自主事業について広報する。
公社ノベルティの 作成・配布	各施設で行っている顧客満足度調査（アンケート）を記入した利用者へ、公社ロゴマークが記載されたノベルティを配布し、公社の認知度向上を図る。

10. その他関連事業

(1) 事務所チャレンジ事業

社内で新たに企画した事業活動を応援する事務所チャレンジ支援事業（Ⅱ-1-(5)①参照）

実　施　部　署	内　　容
秋田県立総合プール	トレーニングルーム整備事業

(2) 商品販売やサービス提供等の事業

実施施設・部署	内　　容
向浜スポーツゾーン	県立スケート場公社オフィシャルキャラクター「かまくまくん」のグッズ販売活動
スポーツ施設	イベントにおけるにぎわい創出としての綿あめやポップコーンの販売活動
スポーツ・文化・公園施設	管理施設内での飲料水等自動販売機の設置
運営本部事務局 企画事業部	公社が所有するポップコーン機の貸出
秋田県立スケート場	喫茶ホールの営業活動
秋田県立循環器・脳脊髄センター	洗濯機と乾燥機の設置